



写真文化首都

写真文化首都 「写真の町」東川町

2023.3.14

子育て支援力アップセミナー



東川町保健福祉課社会福祉室 中村 あさ子

町の概要

■立地・アクセス

東川町は、北海道のほぼ中央に位置する、人口約8500人の町です。東部は山岳地帯で大規模な森林地域を形成し、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の区域の一部になっています。大雪山系の最高峰旭岳（2,291m）は、東川町域に所在。豊富な森林資源と優れた自然の景観が観光資源として高く評価されています。

▼都市部からのアクセスの良さが魅力

羽田空港から町まで：約2時間

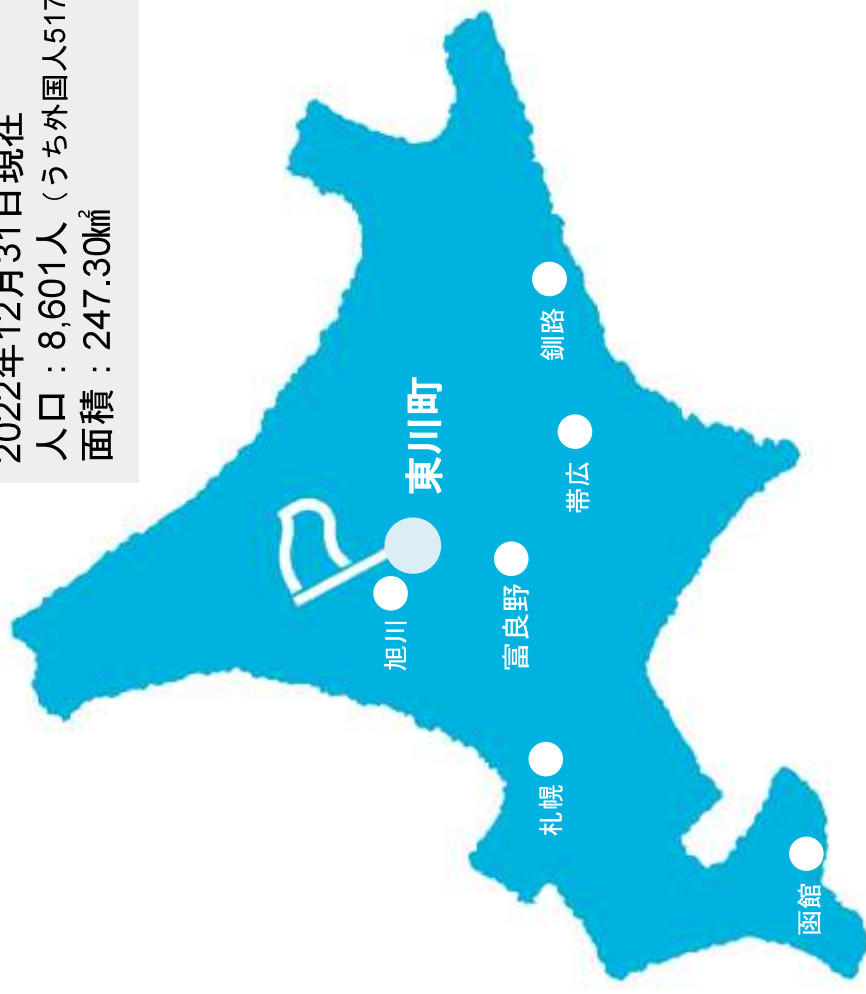
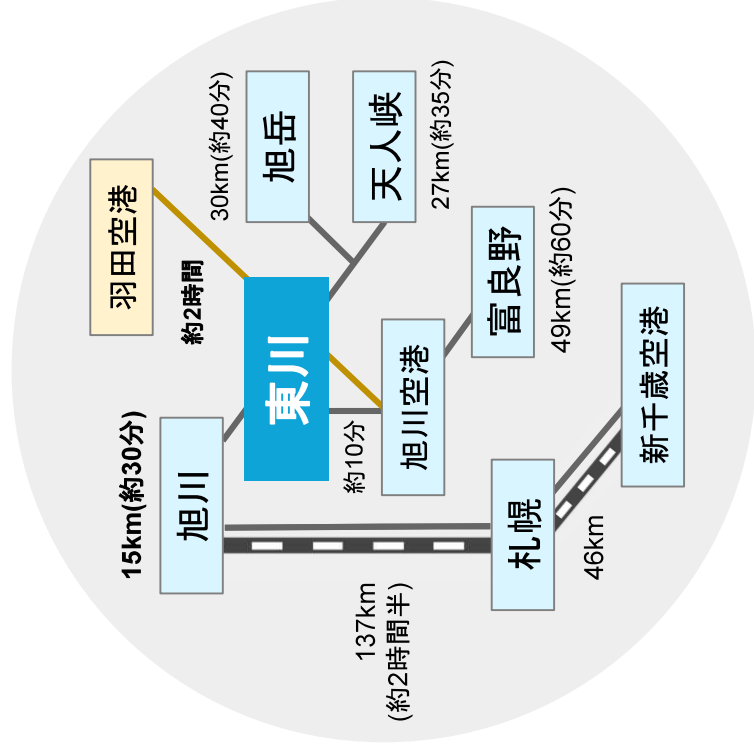
旭川空港から町まで：約10分

旭川駅から町まで：約30分

2022年12月31日現在

人口：8,601人（うち外国人517人）

面積：247.30km²



町の概要

町の特徴・特徴的な取り組みとそのキーワード

写真文化首都「写真の町」

- ・ 1985年「写真の町」宣言
- ・ 2014年「写真文化首都」宣言
- ・ 東川町国際写真フェスティバル
- ・ 写真甲子園

etc...

水が豊かな町

- ・ 大雪山が生み出す豊かな水資源
- ・ 全戸が地下水で生活
- ・ 上水道がないまち

etc...

大雪山・旭岳の町

- ・ 北海道最高峰「旭岳」
- ・ 2291m
- ・ 大雪山国立公園の一部を有する

etc...

お米の町

- ・ 高品質ブランド米「東川米」
- ・ 単一農協、JAひがしかわ
- ・ ゆめぴりかコンテスト最高金賞
- ・ 2020年 公設民営酒造誕生

etc...

木工家具の町

- ・ 「旭川家具」の3割の産地
- ・ 2021年「椅子の日」制定
- ・ 建築家・隈研吾さんとの連携
- ・ 君の椅子プロジェクト

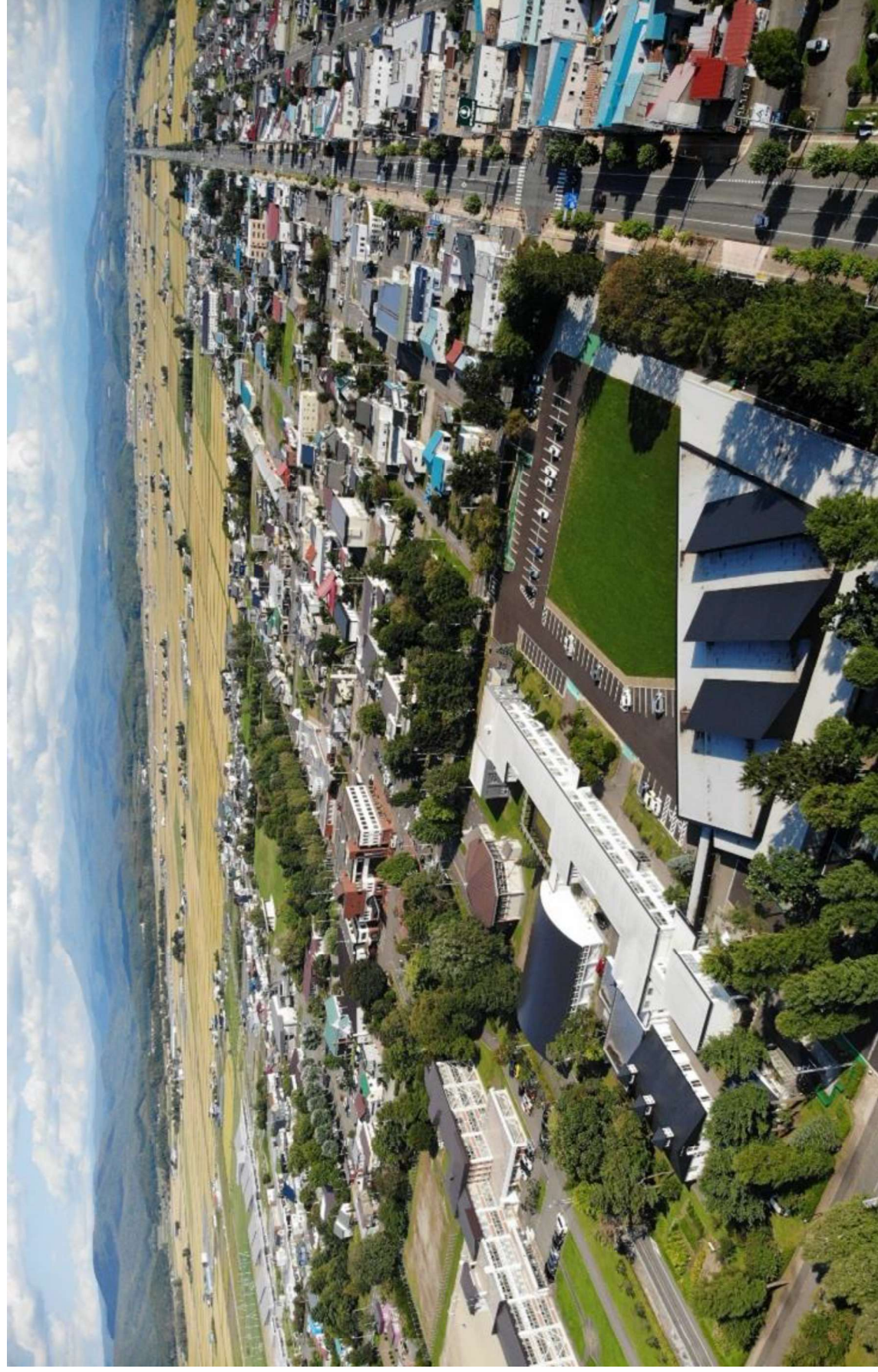
etc...

適疎な町

- ・ 25年間人口が増え続ける町
- ・ 「適当に疎がある」状態
- ・ 2022年「ゼロカーボンに取り組み適疎な町」宣言

etc...

町の概要 | 中心街の景観



写真文化首都「写真の町」

1985年から始まった「写真の町」 35年以上続く文化でのまちづくり

■写真の町の出発点

東川町の「写真の町」の歴史は、1985年までさかのぼります。東川町が21世紀に向けて「町民が参加し後世に残し得る町づくり」を模索したなかで、「写真」でのまちづくりをスタートさせました。東川町では、

「写真の町宣言」（1985年6月1日・写真の日）

「写真文化首都宣言」（2014年3月）

という、2つの写真にまつわる宣言をしています。

◆写真の町の目的：

「自然」や「文化」そして「人と人の出会い」を大切にすること。

- ①写真映りの良い町づくり
- ②写真映りの良い人づくり
- ③写真映りの良い物づくり

＜写真の町宣言＞

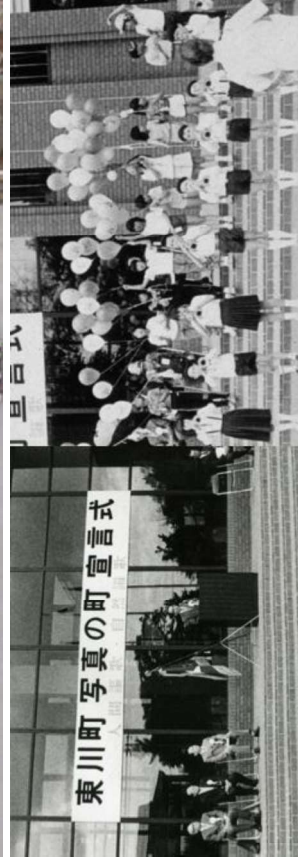
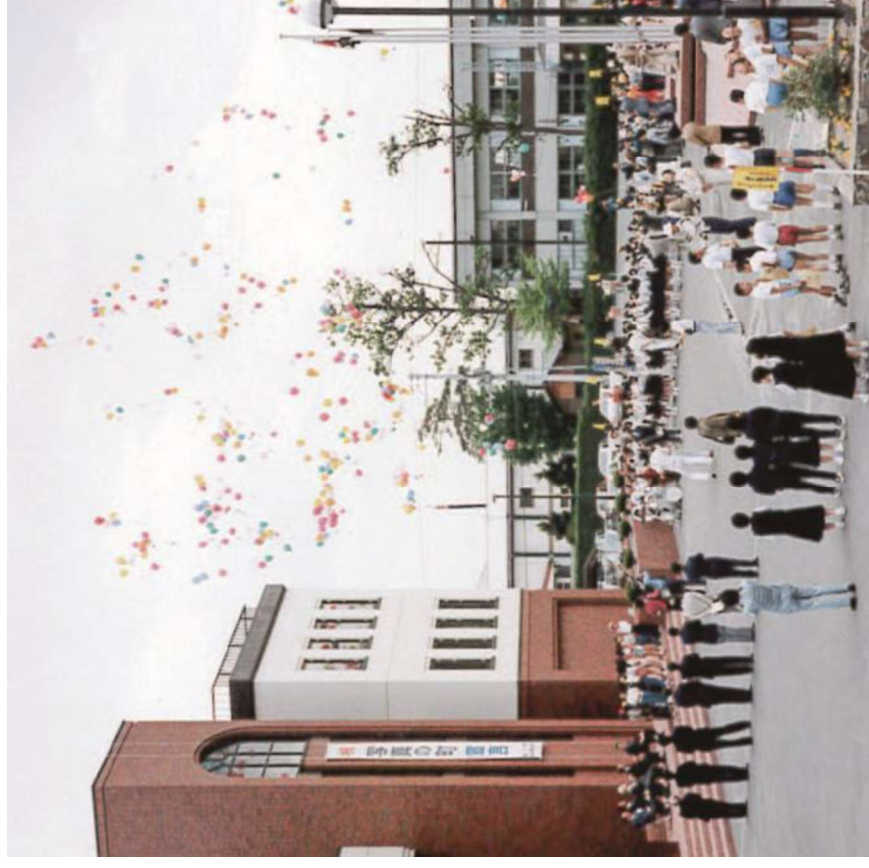
「自然」と「人」、「人」と「文化」、「人」と「人」それぞれの出会いの中に感動が生まれます。

そのとき、それぞれの迫間に風のようにカメラがあるなら、人は、その出会いを永遠に手中にし、幾多の人々に感動を与え、分かちあうことができるのです。

そして、「出会い」と「写真」が結実するとき、人間を謳い、自然を讃える感動の物語が始まり、誰もが、言葉を超えた詩人やコミュニケーションの名手に生まれかわるのです。

東川町に住むわたくしたちは、その素晴らしい感動をかたちづくるために四季折々に別世界を創造し植物や動物たちが息づく、雄大な自然環境と、風光明媚な景観を未来永劫に保ち、先人たちから受け継ぎ、共に培った、美しい風土と、豊かな心をさらに育み、この恵まれた大地に、世界の人々に開かれた町、心のこもった"写真映りのよい"町の創造をめざします。

そして、今、ここに、世界に向け、東川町「写真の町」誕生を宣言します。



町の概要 | 豊かな水資源

上水道がなく、「天然水」を生活水として暮らしているまち、東川町。

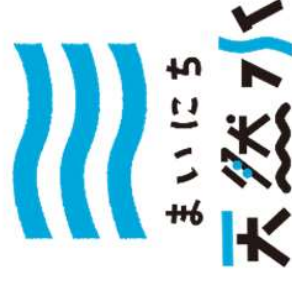
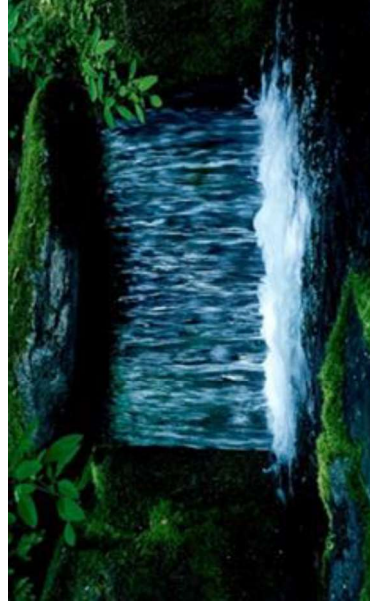
東川町は、全国的にも珍しい、北海道でも唯一の上水道の無い町です。その秘密は、大雪山の大自然が蓄えた雪解け水が、長い年月をかけてゆっくりと地中深くにしみ込み、ゆっくりと東川町へ大切に運ばれてくるからなのです。

東川町で暮らす人たちは、この水を生活水として利用しており、天然の美味しい水で育ったお米や野菜は格別です。また、豆腐や味噌など東川町の地下水を惜しみなく使い、本物の味を追求した加工品や、飲食店でも水の恩恵を受けています。

大雪旭岳源水は、大雪山の自然が創りあげた銘水として知られ、良質で美味しい地下水に恵まれた中でも最上級の水です。ミネラルが豊富にバランスよく含まれ、水温も約6～7度と通年を通して一定で、日々たくさん湧き出ています。（湧出量1分間に約4,600L）

【大雪旭岳源水】

- ・環境省選定「平成の名水百選」（平成20年6月）
- ・特許庁「地域団体商標登録」（平成25年4月）
- ・モンドセレクション・ワールドセレクション最高金賞受賞



観光 | 旭岳を中心とした温泉街

北海道最高峰、2291mの大雪山旭岳。 国立公園内の雄大な自然が定番スポット

■大雪山国立公園内に位置する旭岳
北海道最高峰、標高2,291mを誇る旭岳を有する日本最大の国立公園。姿見の池や色鮮やかな高山植物などが、多くの登山客の目を楽しませています。

標高1,100mの山麓駅から標高1,600mの姿見駅まで、ロープウェイでたったの10分。日本一早い紅葉と呼ばれる、赤や黄に染まる秋の絶景は見逃せません。

■「天人峡」も絶景が見られるジオスポイント
約3万年前の巨大噴火によって形成された、柱状節理と呼ばれる岩壁が特徴の天人峡。北海道一の落差270mの羽衣の滝と四季折々の自然の表情が任巻です。

■旭岳と天人峡、ふたつの温泉地
東川町中心部から約30kmの旭岳温泉は、登山客やスキー客からも人気の温泉地。秘湯・天人峡温泉には、無料で利用可能な「天女の足湯」も。

